

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成24年6月7日現在

機関番号：32608

研究種目：基盤研究（B）

研究期間：2009～2011

課題番号：21320125

研究課題名（和文） 豊臣政権の政治機構の文書学的研究

研究課題名（英文） Historical Studies of mechanism of political science in Toyotomi regime (1582-1598)

研究代表者

堀 新 (HORI SHIN)

共立女子大学・文芸学部・教授

研究者番号：80296524

研究成果の概要（和文）：

2009～2011年度を通じて、史料調査の実施、研究会の開催、データ入力、の3点を共同研究の中心に据えて活動した。3年間に史料調査先は50ヶ所以上、研究会は15回、事務的会合は約30回、メールでの打ち合わせは無数であった。史料調査の際には周辺のフィールドワークを行った。データ入力は、豊臣秀吉発給文書・豊臣奉行人発給文書を中心に、古記録もあわせて約4000点に及んだ。研究会の成果の一部は、山本博文・堀新・曾根勇二編『消された秀吉の真実』（柏書房、2011年）として公表した。

研究成果の概要（英文）：

Throughout the fiscal year 2009-2011, the joint research activities centered on three points of historical survey, held the meeting, research, data entry. Where historical research is more than 50 points, Study Group 15 times, businesslike meeting was conducted about 30 times as, countless meetings by e-mail. Historical research was conducted during the field work around. Data entry, especially in the document issued by a magistrate who issued documents, Toyotomi Hideyoshi and his servant (Toyotomi-Bugyonin), which lasted about 4,000 points also to the old record. Meeting some of the results of the study, "The Truth of Hideyoshi was put out" YAMAMOTO Hirofumi, HORI Shin, SONE Yuji (Kashiwashobo, 2011) was published as.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2009年度	3,400,000	1,020,000	4,420,000
2010年度	2,100,000	630,000	2,730,000
2011年度	1,600,000	480,000	2,080,000
年度			
年度			
総計	7,100,000	2,130,000	9,230,000

研究分野：日本史

科研費の分科・細目：近世史

キーワード：日本史、豊臣政権、取次、奉行人

1. 研究開始当初の背景

- (1) 「取次」を中心に豊臣政権の研究が進んでいたが、個別的・断片的な状況にとどまっていた。
- (2) 豊臣秀吉発給文書の収集・整理が進む一方で、奉行人の発給文書の収集・整理が遅れていた。

2. 研究の目的

- (1) 豊臣政権による大名編成の実態を解明すること
- (2) 「取次」など奉行人層の政治機能の解明を通じて、豊臣政権の政治機構を解明すること
- (3) 上記(1)・(2)をもとに、豊臣政権の権力構造と歴史意義を解明すること

3. 研究の方法

- (1) 豊臣関係文書の網羅的収集・整理
- (2) 収集史料の史料学的分析
- (3) 古記録を対象とする古記録学的分析

4. 研究成果

おもな成果は以下の通りである。

- (1) 豊臣秀吉発給文書約 1400 点の目録化
- (2) 豊臣奉行人発給文書約 300 点の目録化
- (3) 五奉行発給文書約 60 点の目録化
- (4) 長束正家発給文書約 100 点の目録化
- (5) 石田三成の発給・受給文書など約 1000 点の目録化
- (6) 小西行長発給文書約 100 点の目録化
- (7) 前田玄以発給文書約 500 点のデータ入力
- (8) 豊臣奉行人に関する古記録記事約 400 点のデータ化
- (9) 上記(1)～(8)をもとに、山本博文・堀新・曾根勇二編『消された秀吉の真実』(柏書房、2011年)を刊行

上記(1)～(9)の成果によって、徳川史観(徳川家康や将軍職をことさらに神聖化・絶対化する江戸幕府によるイデオロギー工作)による豊臣期政治史の歪みが浮き彫りとな

り、正確な文書データの読解・解釈による史実確定の重要性が浮き彫りとなった。また刀狩令や「自敬表現」に関する批判があったが、それに対する反批判を通じて、豊臣秀吉発給文書の作成され方や、法令伝達のあり方から五大老クラスの有力大名の自立性など、豊臣政権の大名編成や政権構造が明らかとなった。これらの成果は海外からも注目を集め、2012年度中に複数の海外におけるシンポジウムが企画されている。

今後の展望としては、豊臣秀吉発給文書や奉行人文書のさらなる収集・整理を進め、これらを総合的に分析することである。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 8 件)

1. 堀新「大名や旗本の律令官位にはどんな意味があったのですか」 『日本歴史』754号 査読無 pp. 38-41 2012年
2. 堀新「近世朝幕関係論」 『歴史評論』735号 査読無 pp. 16-28 2011年
3. 山田邦明「遠江・三河から見た武田氏」 『武田氏研究』44号 査読無 pp. 1-23 2011年
4. 山本博文「秀吉文書の「自敬表現」および刀狩令について」 『歴史学研究』887号 査読有 pp. 23-29 2011年
5. 矢部健太郎「中世武家権力の秩序形成と朝廷」 『国史学』200号 査読有 pp. 53-102 2010年
6. 矢部健太郎「秀吉の小田原出兵と「清華成」大名」 『國學院大學紀要』49巻 査読有 pp. 131-159 2010年
7. 白根孝胤「明治初年における徳川慶勝の動向と撮影写真」 『徳川林政史研究所研究紀要』45号 査読有 pp. 145-160 2010年

8. 白根孝胤「近世後期における尾張家の植栽空間と大名庭園」『徳川林政史研究所研究紀要』44号 査読有 pp.1-25 2009年

〔学会発表〕(計11件)

1. 佐島顕子「文禄役(壬辰倭乱)期の豊臣政権の情報伝達について」日本史学会 2011年12月17日 梨花女子大学(ソウル)
2. 堀新「織豊期王権の成立と東アジア」歴史科学協議会 2011年11月26日 立教大学
3. 堀新「織豊期王権の論じ方」九州史学会(招待講演) 2011年10月15日 九州大学
4. 矢部健太郎「「源姓」徳川家への「豊臣姓」下賜」日本古文書学会 2010年9月16日 にぎたつ会館(松山市)
5. 堀新「東アジア国際関係に見る壬辰倭乱」韓日文化交流基金・東北亜歴史財団シンポジウム 2009年9月20日 麗水 Ocean Resort (韓国)
6. 堀新「コメント」国史学会 2009年6月14日 國學院大學
7. 矢部健太郎「中世武家権力の秩序形成と朝廷」国史学会 2009年6月14日 國學院大學

〔図書〕(計25件)

1. 堀新『織豊期王権論』校倉書房 p364 2011年
2. 堀新「織田信長の居所と行動」藤井讓治編『織豊期主要人物居所集成』思文閣出版 pp.3-50 2011年
3. 堀新「豊臣秀吉の居所と行動(天正10年6月2日以前)」藤井讓治編『織豊期主要人物居所集成』思文閣出版 pp.51-83 2011年
4. 堀新「「士農工商」と近世の頂点身分」大橋幸泰・深谷克己編『<江戸>の人と身分6 身分論をひろげる』吉川弘文館 pp.194-198 2011年
5. 山本博文・堀新・曾根勇二編『消された秀吉の真実』柏書房 p325 2011年

6. 佐島顕子「秀吉と情報」山本博文・堀新・曾根勇二編『消された秀吉の真実』柏書房 pp.215-240 2011年
7. 矢部健太郎「秀次事件と血判起請文・『掟書』の諸問題」山本博文・堀新・曾根勇二編『消された秀吉の真実』柏書房 pp.267-294 2011年
8. 矢部健太郎『豊臣政権の支配秩序と朝廷』吉川弘文館 p300 2011年
9. 山田邦明『Jr.日本の歴史 乱世から統一へ』小学館 p302 2011年
10. 山本博文『日曜日の歴史学』東京堂出版 p269 2011年
11. 堀新「東アジア国際関係に見る壬辰倭乱」『壬辰倭乱と東アジア世界の変動』景仁文化社(韓国) pp.171-196 2010年
12. 深谷克己・堀新編『<江戸>の人と身分3 権威と上昇願望』吉川弘文館 p227 2010年
13. 堀新『日本中世の歴史7 天下統一から鎖国へ』吉川弘文館 p224 2010年
14. 堀新「官位昇進運動からみた藩世界」岡山藩研究会編『藩世界と近世社会』岩田書院 pp.81-108 2010年
15. 山田邦明『日本中世の歴史5 室町の平和』吉川弘文館 p300 2010年
16. 山本博文『徳川幕府の礎を築いた夫婦お江と秀忠』グラフ社 p240 2010年
17. 堀新「解説」『深谷克己近世史論集3 公儀と権威』校倉書房 pp.355-365 2009年
18. 山本博文『天下人の一級史料』柏書房 p272 2009年
19. 山本博文『江戸に学ぶ日本のかたち』日本放送出版協会 p234 2009年
20. 山本博文『殉教』光文社 p251 2009年

〔その他〕

ホームページ等
豊臣秀吉関係文書研究会
<http://www.justmystage.com/home/toyotom>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

堀 新 (HORI SHIN)
共立女子大学・文芸学部・教授
研究者番号：80296524

(2) 研究分担者

佐島 顕子 (SAJIMA AKIKO)
福岡女学院大学・人文学部・准教授
研究者番号：40225173

村上 隆 (MURAKAMI TAKASHI)
共立女子大学・文芸学部・教授
研究者番号：00239493

山田 邦明 (YAMADA KUNIAKI)
愛知大学・文学部・教授
研究者番号：60174710

山本 博文 (YAMAMOTO HIROHUMI)
東京大学・情報学環・教授
研究者番号：80158302

矢部 健太郎 (YABE KENTARO)
國學院大学・文学部・准教授
研究者番号：20459001

(3) 連携研究者

鴨川 達夫 (KAMOGAWA TATSUO)
東京大学・史料編纂所・准教授
研究者番号：60214566

白根孝胤 (SHIRANE KOUIN)
(財)徳川黎明会・徳川林政史研究所・研究員
研究者番号：60370178

(4) 研究協力者

曾根 勇二 (SONE YUJI)
横浜都市発展記念館・職員
研究者番号：なし

堀 智博 (HORI TOMOHIRO)
首都大学東京・大学院人文科学研究科・大学院生
研究者番号：なし

堀越 祐一 (HORIKOSHI YUICHI)
國學院大學・文学部・講師
研究者番号：なし

光成 準治 (MITSUNARI JUNJI)
県立広島大学・人間文化学部・講師
研究者番号：なし

山崎 布美 (YAMAZAKI FUMI)
國學院大學・大学院文学研究科・大学院生
研究者番号：なし